

みみため

"みみ"よりな情報
"ため"になる
情報誌

2018年4月16日58号
発行：グリーンコープ生活協同組合理事会
出雲市斐川町莊原 2230-1

イラストは引き続き募集中！ お問い合わせはこちらへどうぞ → TEL：0853-73-8010 FAX0853-73-8013

今年度、グリーンコープは30周年を迎えます。『30th anniversary ありがとうこれからも』をキャッチフレーズに、シンボルキャラクター「緑の精」も登場し、各単協、共同体全体で、おまつりや商品開発などに取り組んでいきます。

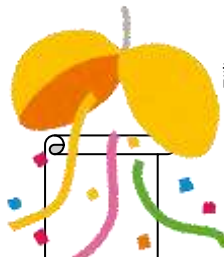
(島根)も11月にお祝いのお祭りを計画しています。

11月10日(土)
朱鷺会館(出雲市西新町)

生産者、メーカーさんとの交流はもちろん、地区委員会のブース、生協の商品を使ったスイーツなどの販売も……。ハンドマッサージなども計画なので、ゆっくりと一日をお過ごしください。

今後、詳細を検討していきますが、スタッフとしてお手伝いいただけるボランティアさんも募集していく予定です。一緒におまつりを盛り上げて下さる方、待っていてください。

私たち組合員が生協の主役であることを実感していきましょう！！



祝

30周年



グリーンコープ連合は1988年に設立されました。

今では各府県でグリーンコープ生協となっていますが、そうなるまでにはそれぞれの歴史があったようです。

(島根)も中部生協として設立し(一昨年60周年を迎えました)、まいにち生協を経て、2002年正式にグリーンコープに加入しました。連帯の力でより多くの仲間を迎え、福祉、でんきの共同購入など運動を拡げることができました。

93年には当時の理事長の皆さんが「夢がたちに」を起草されました。

この冒頭は『元気な子どもの笑顔、家族の健康、窓辺にこぼれる柔らかな日射し、小鳥の鳴き声、私たちの願いはこのささやかな、そして基本的な希望が子どもたちの未来にまで続いていくことです。~』と書かれています。

いつの時代も私たちの願いは変わっていません。この願いをかなえていくために、この節目の年も元気に活動していきます。

これまでの感謝も忘れずに♡

3月理事会報告(2018.3.16開催)

- ・2017年度組合員活動総括(案)について
- ・産直たまご生産者「井上養鶏場」との取引終了について
- ・第67回通常総代会について
- …などを協議しました。

数字でみるGIC生協(島根)

(2018年1月20日現在・数字はグリーンコープ登録分です)

新規加入された組合員さん…25名

現在の組合員総数…8,443名(前年対比102.3%)



暮らしの助け合い活動

けんせ隊

みなさんの依頼
お待ちしております

脱原発学習会「原発に頼らない社会へ」（2月5日(月) 博多バスターミナル）

脱原発運動に取り組み始めてきた講師の田中優さんより、電気需要の現状や電気の地域自給についてお話いただきました。



○田中さんのオフグリッド生活

CO2 排出量は、一般家庭に



比べー89%達成。

2013年から岡山の自宅で電力会社に頼らず、太陽光パネルと独立電源システム生活をしている。送電線はつながっていない。水道管もなく水は井戸から供給。

○電気需要について

全体の電力消費量のうち、家庭は約2割。大部分が事業者による産業消費。日本の家庭は世界的にも省エネ！日本の家庭のエネルギー消費は先進国の中で最も少ない。原発が稼働しなくても電力は足りている。足りないのは1年間 8,760 時間のうち5時間程度だけ。電力消費のピークが出るのは「夏場・平日日中・午後2～3時・最高気温を記録するとき」だけ。



○太陽光発電による送電ロス

電圧を高める装置をつけないと、ロスで電力はほとんど消えてしまう（ある地域では街から2km離れた場所で太陽光を設置したが、街へ届くまでに消えてしまっている）



→ではどうしたらいいの？太陽光発電した電気を一旦バッテリーに入れて自宅で使う。つまり、自給する仕組みをつくれればいい。

○電気を地域自給する

今までのエネルギー社会は石油社会で上から下へお金とエネルギーが流れてきた。これからの社会は、仕組みを変えて、下から上へ流れる自然エネルギー社会として地域単位の社会をつくるのが可能。電化製品を買い替える時は「省エネ製品」！これからは電気消費を少なく、バッテリー少なく、発電も少なく。「太陽熱温水器」はおすすめ！



ガス代が大きく減る。これからはそれぞれの地域で発電、それぞれの地域で売電、それを各家庭で使う方向へ。

○各地の取り組み

カリフォルニアなど海外では「デマンドサイドマネジメント」（消費サイドに管理かける）が積極的に推進されている…消費を減らす側に電力会社がお金を配る。（例えば省エネ電化製品に買い換えたら電力会社からお金をもらえる、など）「自エネ組」自分たちでエネルギーを自給しているチーム…全国で43か所は独立電源で発電、また19か所は設置予定。



北九州市の八幡東区では、自分たちで発電した電力を蓄電池へ一旦集め、それを需要に合わせて再配分するという事業に取り組んでいる。

電気代は需給状況に応じて変動し、普段は電気料金14円/kw、ピーク時は75円/kwと5段階に設定して実施。ピークになることを電気利用者に前日伝え、26.4%の需要削減効果が見られたという。

学習会の最後に、グリーンコープに対して

「グリーンコープがこれからも電気に取り組むならもっと先のビジョンをもってほしい。グリーンコープが各地域で独立して小さく発電し、家庭へ電気を届ける仕組みをつくった方がいいと思う。」

…とお話いただきました。

1人1人が電気についての理解を深め、自分のこととしてどう行動に移すのかを考えるきっかけとなる時間となりました。



安来ブロック グリーンコープの1dayあったかcafe 開催しました



新しい年が明け、今年最初のイベントは前年度も好評だった 1day cafe。
今年は安来の玄関、安来駅構内とそこから 20 分ほど離れた広瀬町の二か所で行いました。



まずは1/18（木） 広瀬保健センター。



cafe らしい雰囲気会場を仕上げたら、20 名様分の試食の用意。すると、オープンして間もなく、赤ちゃん連れの若いお母さん二人が来店。



そうです！ここは、健診なども行われる会場なので、乳幼児健診の時にチラシを見て来てくださったのです。

広瀬町はまだまだグリーンコープを知らない方が多い地域。そこに、一番乗りで未組合員であるお母さん方に来ていただいたことは、とても大きな成果があるなと嬉しく、喜びました。



その後は、よく来てくださる組合員の方、当職員の方など 12 名の参加となりました。



二か所目は、1/31（水） 安来駅構内。



伊達理事が出店しているお店の向かいに cafe スペースを設け、ホットプレートでウィンナーとベーコンポテトを焼くと、たちまち香ばしい香りが通りかかる人の足を止め、「何かありますか？」
「何時からですか？」と興味を持ってくださり、5 分早めでのオープンとなりました。



駅はやはり人の通りも多く、グリーンコープを知らない人にも気軽に来てもらいやすい場所であり、「毎週しておられますか？」と聞かれる方や、構内管轄の職員の方にも「定期的にオープンしてください」と言ってもらえ、次につなげていきたいと思いました。



こちらは 19 名の参加。

今回はどちらも手のかからない試食品を用意していたのでスタッフの負担も軽く、来てくださった方へは 300 円の材料費でランチのようなセットができ大変喜んでいただきました。



今年もいろんなイベントを企画していきますので、楽しみにしててください！！

松江まったり委員会

春のわくわくパーティー

～渡邊水産さん直伝！干物を使った料理教室～

地元、出雲市のメーカー「渡邊水産」の渡邊一社長直伝の干物の料理教室を、「JA しまね くにびき地区本部 San・san館」にて行いました(#^_^#)

干物の話を聞きながら、渡邊水産さんの「目からウロコ！」のレシピを教えてくださいました。



メニュー

- アジのふりかけ
- アジのひや咄
- アジのアラスープ
- キスミンチのてんぷら
- 穴子の天ぷら
- 笹カレイの焼き



干物って焼くだけだと思っていたのに・・・！！

実は色々な活用方法がありました🍴
捨てる所なんて無いんです！



ごはんがすすみます。「ひや咄」をごはん
にかけて、何杯でも食べれるんです

これからも、渡邊水産さんの美味しいお魚をいただきながら、至福の時を過ごしたいです🍀ありがとうございました(*^-^*)
次回、渡邊水産の🍶レシピを載せます。お楽しみに('◇')🍶



出雲地区委員会

春のわくわくパーティー in いずもを開催しました♪

開催日：2月21日（水） 会場：さんぴーの出雲 参加者：17名

今年の春のわくわくパーティーは、1年間の地区委員の活動報告、グリーンコープでんきの取り組み、30周年のお祭り開催PR、新登場の粉せっけんのお話をしました。



その後にみんなで井上養鶏場の安心安全な卵を使ってパンプリンとヨーグルト入りケーキ作りをしました。



グリーンコープの食材の話にも花が咲き「安心安全の食材での料理がとても良かった」「簡単レシピでとても参考になった」などの感想をいただきました。

井上養鶏場からの新鮮な卵と手作りプリンのお土産もあり、みんな大満足でした。



西部ブロック

グリーンコープ連合の
フードサポート事業

“はまだふれあい食堂”

をご紹介します

グリーンコープ連合では、フードサポート事業に取り組んでいます。
フードサポートは、生命（いのち）を育む食べものを通して、人と人が協同し、相互に助け合いをつくり続けていく活動です。食品を寄贈いただく方々、食品の力によって社会的弱者の生命（いのち）を支える福祉団体が、顔の見える関係性の中で集い、食を必要としている方々を助けます。



もともとはお父さん、お母さんが忙しくて、おうちで一人でご飯を食べなければいけない子どもの「孤食」をなくす取り組みとして始まりました。

はじめてみると、子どもたちだけではなく、地域のお年寄りをはじめ、幅広い世代の方々が参加してくれて、四世代の交流の場になりつつあります。

ボランティアも来場者と会話を楽しんで、また相席になれば横の方ともふれあいが生まれ、毎月の常連さんも多くなってきました。



〈食育体験と遊び〉

この食堂では、食育体験を実施しています。1月はオモシロマシュマロデコ体験、2月は恵方巻き、3月は簡単クッキー作り体験をしました。ボランティアのお母さんたちが講師になって毎回数人から10人程度の子どもたちが一緒に作ります。“自分で作ったものを自分で食べる”今の子どもたちには必要で、きっと将来役に立つと思っています。

食べたらいつも部屋の中か、天気がよければ外で遊びます。ボランティアも一緒になって遊びます。

〈居場所という役割〉

ある男の子、毎回来てくれていましたが、どうにも浮かない顔・・・
お母さんがポロっと「この子、不登校で・・・」

ある女の子、一人で歩いてきて、11時からボランティアの片付けが終わる15時過ぎまで一緒にいて、一人で帰っていきました。外で二人でシャボン玉をしている時に家庭の事情が垣間見えました。



いろいろあるなど・・・「次回は友達とおいで」なんて軽はずみに言えません。毎回「居場所になりきれていないのではないか」という気持ちと向き合いながら、できる限り受け止めてあげ
るしかありません。毎回試行錯誤しています。



この食堂を運営して、“どの世代も他者とのふれあいや繋がりが嬉しかったりするんだな”と気づきました。食材の提供や寄付、ボランティアも、毎回いろいろな方に賛同いただき感謝しています。

今後も実情に合わせた、みなさまに支持される「居場所」になればいいなと思っています。

はまだこども食堂実行委員会 代表 細川豪

はまだふれあい食堂

開催日 毎月第3土曜日 11:30~12:30 (食育体験は10:00~11:00過ぎまで)

場所 民宿しまや(浜田市国分町600) 参加費 子ども100円 大人300円



『元気くんカード』で寄せられたご意見・ご要望をご紹介します



…… タレの添付なしの納豆がほしいです ……



いつもは納豆はグリーンコープさんでは買わず、タレのついていない（下仁田納豆かな？）をスーパーで買っています。先日グリーンコープさんで北海道産大粒納豆を頼んで食べたところ、とてもおいしかったのですが、タレが添付されているので捨てることになります。その都度いつもタレを捨てるのはとてもイヤです。でも使いません。やっぱりスーパーで買うしかない？せっかくおいしい納豆なのに。

以前住んでいた神戸で利用していた灘生協ではタレなしのものがありませんでした。グリーンコープさんでも検討していただけるととても嬉しいです。

以前はグリーンコープの納豆にも“たれ無し”はありましたが、組合員さんから、「たれ有りにしてほしい」との要望が数多くあがり、たれ付きになったという経緯があります。

この度いただいた意見を「商品要望」として商品検討委員会へ繋げていきますが、上記の経過がある為、実現できるかは分からないことをご理解いただければと思います。



…… リユースびんのラベルがもう少し剥がしやすくと嬉しいです ……

ごまドレ愛用していますが、もう少しラベルが剥がしやすくと嬉しいです。

（せめてケチャップくらい）

濡らさなくても剥がせるシールがいくらかでもありそうですがいかがでしょうか？

いつもお世話になります。ごまドレおいしいですね。ご愛用ありがとうございます。

さて、ごまドレのラベルについてですが、ラベルは洗びん工場で剥がすので、そのまま出してください。ごまドレだけでなく、リユースびん全てについてラベルはそのまま大丈夫です。



…… 特別申込み欄に商品名を記入するスペースがあったら… ……

届いた商品の中に注文したはずのない商品がありました。なぜ？と思いカタログを確認すると、特別申込み欄記入の商品でした。注文したはずの商品がなかったため、申込番号を間違えたのだと思います。

できましたら特別申込み欄に商品名を記入するスペースを作ってもらえたらと思うのですが…今までに何度か違う商品が届いたことがありました。

今回は「9079」と書いたつもりが「9072」の商品でした。

注文書は限られたスペースにより多くの商品を記載できるようにしています。注文書は最終的に機械を通過して注文が確定するようになっています。回収をした注文書は配送担当者が必ず、汚れの付着等がないかを点検しますが、仮に特別申込み欄に商品名を記載できるようになったとしても、その特別欄の数字とカタログの中の商品が一致するかという点検までは、現在の職員体制では時間的に困難な状況になっています。

組合員の皆さんには、お手数をお掛けしますが提出前に今一度数字の確認をしていただきますようお願いしたいと思います。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また何かありましたら、いつでもご連絡なくご意見をお聞かせ下さい



地域で活躍するグリーンコープの仲間

大田市 後藤 克也 さん

◆どんな活動をされていますか？◆

島根県大田市大田町で洋菓子店
Bon Bon Voyage を経営しています。

◆グリーンコープを始めたきっかけは？

妻が先にグリーンコープに加入しており、
家庭内でも第一子の誕生を機に妻が率先して
『食』への関心と、『食の安全』について学ん
でいく姿に影響を受け、私自身も『食』・『安
全な素材』というものに対して今まで以上に
意識が高まっていきました。

更に私が洋菓子店を独立開業するタイミン
グも相まって、お客様（特にお客様の大切な
小さなお子様や私たちの子ども）に偽り無く
きちんとした材料で商品を提供しなくてはい
けない責任を改めて重く感じておりました。

多様にある原材料の中で一番慎重に厳選し
ていたのが『牛乳』でした。Bon Bon Voyage
の生命線である牛乳に選んだのがグリーンコ
ープの『ノンホモ パスチャライズ牛乳』で
した。妻に取り寄せてもらい、試作した結果、
想像以上のサンプル品が完成しましたので、
私もグリーンコープに加入しノンホモを使わ
せて頂いております。

◆いま思っていること◆

当たり前のことを当
たり前にきちんと守る
…『お客様のお口に入
る』という事実が全て
の根源であると。

摂取しない方が良い材
料は絶対に使用しないと。小さなお子様
が食べても大丈夫な商品だけを作らな
ければいけないのだと。その為には何
をすべきか。素直な心で菓子と対峙す
ることが基本であると。その為には自
分自身が素直な心で当たり前の事を
当たり前にきちんと守る他に無いな
とっております。

基礎基本しかないのです。仕事でも
人生でも要点は同じだなと感じていま
す。

「基本に忠実であれ」と思っています。

◆今後の展望はありますか？◆

今は目の前の今日一日を精一杯働く
ことで手一杯なものですから。先のこ
とは全然分かりません（笑）。

望みとしては感性を研ぎ澄ませてい
けるように自分の基礎を大切に培養
できれば問題はありません。

日々が愛で救われます様に願っています。



組合員のみなさんへ

リユースびんを出される時は次のことをご確認くださいね



<リユースびん>

注意点

リユース

マークのないびんは回収していません。

マヨネーズ・りんごジュース・チョコの調味料のびんなどは
回収していません。

※生協では、リユースびんでないびんは有料で処分しなければ
なりません。

④びん

中をよく洗って
返してね!



取れにくいキャップは無理して取
らなくていいです。びんに傷が付い
たらリユースできなくなります。

グリーンコープのひと



名前：錦織 良樹
 担当：配送担当
 （浜田センター）
 出身：出雲
 趣味：ゴルフ、釣り

グリーンコープのひとを紹介していきます

「冬ですごい雪の日に組合員さんから温かいコーヒーをもらいました。寒すぎて心が折れかけていた時だったのですごく嬉しかったです。ありがとうございました！！」

— 休日はどのように過ごしていますか？

「ゴルフをしたり、イカ釣りに行っています。ゴルフはなかなかうまくなりません。イカ釣りは春になってから、また行こうと思っています。」

— 組合員さんにひとこと、どうぞ。

「組合員さんの生活の一部としてお役に立てるように頑張りますので、これからもよろしくをお願いします。」

— すきなGC商品・おすすめ商品を教えてください。

「玉ねぎ黒酢ドレッシングです。今まで食べたドレッシングの中で一番美味しいと思いました。サラダがすすみます。」

— 組合員さんとの関わりの中で、心に残ったエピソードがあれば教えてください。



『低硝酸態窒素』の野菜を召し上がれ♡

2月より、浜田市弥栄町の高橋農園よりほうれん草・小松菜・リーフレタスが入荷しています。高橋農園は、「低硝酸態窒素」の野菜を作っておられます。

まだ聞きなれない言葉かもしれませんが、ヨーロッパなどでは数値の規制が始まっています。「低硝酸態窒素」の野菜には、「こども野菜」というシールがついていますので、皆さん気にして見てください。pompomには火曜日に入荷しますので、是非利用してください。

これから「低硝酸態窒素」の野菜を作られる仲間がどんどん増えます♪



浜田市竹迫町 1901-21 FAX電話(0855)23-6647 営業時間:火~金 10時~18時
 Email pompom.gc.shimane@olive.plala.or.jp 土 10時~15時



こんにちは (*^▽^*)
 まいにち自動車の営業、西尾です

ワイパーゴムのふき取りは、キレイですか?!

ワイパーゴムは使っているうちに劣化したり、硬くなったりします。ゴムが柔軟な状態でないと十分な働きができません(一一)!!



梅雨の季節の前に点検をおススメします♪ お問い合わせ、お待ちしております(*^^)v

新車、中古車販売に車検、点検、他、車の事ならなんでも伺います! お電話、ご来店、お待ちしております(^◇^)



おすすめ商品の紹介やレシピなど、おたよりお待ちしております♪

みみため 58号

お名前 _____ コース _____ TEL _____

※いただいた個人情報は、広報誌および組合員活動にのみ使わせていただきます。
 配送担当に提出ください。